

市老協だより

新春号

新年のご挨拶

さまざまな関係を侵す病と今年の協議会の在り方

新年明けましておめでとうございます。本年が皆様にとりまして、よりよい一年になりますことをご祈念申し上げます。日頃より当協議会の運営に当たりご理解とご協力を賜りまして有難うございます。本年もよろしくお願い致します。

昨年1月中旬より新型コロナウイルス感染症が日本でも起こり、今もコロナ禍が続く昨年はこの事で事業運営や生活に大きな影響を受けた一年となりました。

今も終息するさざしが見えないなかで、イタリアの作家パオロ・ジオルダノ氏が次のように述べています。「医学的な緊急事態である以前に数字的に緊急事態である。数字は数の科学でなく、関係の科学でこの感染症は私たちのさまざまな関係を侵す病である」と言われています。また、患者数の増大として「ベリヤードの球でいうなら一つの球にぶつかり一つの球を動かす、すると二つの球がそれぞれ他の球を動かす、あつという間に球が増える」と言うのです。これはよくわかるたとえで大いに実感できることです。「家族の職場や学校でコロナが発生してそのために仕事を休む」「ご利用者が陽性になり、ヘルパーさんが濃厚接触者となり自宅待機となった」等連鎖で大きな影響を受ける事を私たちは経験しました。家族内感染が増加しているので、家族の健康状態等の確認が必要です。

また、昨年10月にコロナウイルス感染症の発生時に介護施設等の職員に不足が生じた際に、他の施設から職員派遣をしてサービス提供を継続するための協定を京都府、京都市等と結びました。11月になり当協議会所属法人で職員の不足事案が生じて京都市と理事会で協議の上すぐに要請に応じて、職員派遣を会員施設に依頼しました。それに対して、予想を上回る15法人24施設40人の申し込みをいただきました。（実際は調整の上9法人16施設26人が派遣活動して終了）それも有難いことに職員から支援に行き力になりたい、という声が多かったのです。人材確保が各施設の課題で

ある中で、これだけ大きな支援が出来たのはご利用者のために、職員のために、その施設のために少しでも助けたい、収束のために役立ちたいとの気持ちの連鎖があったからです。このことは、良い意味でのさまざまな市老協の関係をより深めることが出来た、素晴らしい連携であり、改めて皆様にお礼を申し上げます。

今年におきまして、まだまだコロナウイルス対策を十分講じる必要があります。当協議会の活動も含めて各施設で、さまざまな予防対策を講じて「安全を造りだす取り組み」「すべての人の生命と尊厳を護る」という実践をお願いしたいと思います。

今年の協議会活動

今年もコロナウイルス対策を取りながらの会活動になります。昨年は集合しての会議や研修会はほとんど行わず、WEBでの実施となりました。安全が確認できる社会になるまでは今年も同様の形に当面はなります。

当協議会が策定したVISION2025「DREAM・DESIGN」に挙げた「職員の定着促進、将来の担い手を育成・確保」「市民の立場を護るための政策提言」「京都市を日本一安心して暮らし続けられるまちのすること」の大きなテーマ実現を目指します。

関連して、昨年11月に「かいごみらいフェス2020」を京都市、京都市社会福祉協議会と共催で行いました。三密を避けるためにKBSSラジオを通じて1週間連続で介護、福祉の魅力発信をしました。今年もこのような形態での活動をしたいと思っています。これからも続く人材確保問題のため、幅広い市民に継続して高齢者福祉の重要性と魅力を伝えるために組織を上げて取り組みます。

また、同じ目的として新たな取り組みで、「絵本製作プロジェクト」を立ち上げました。既に準備に入っていますが前述したVISION2025の中でも触れています。幼

少期の倫理教育、道徳教育に寄与する目的で「若い」「生死の問題」等を絵本から引きつけて理解を深めたいと思います。私自身、小学生に認知症の理解や高齢者の気持ち、個性を伝えるべく数年前に、職員と共に児童館へ行き、話しと寸劇を通じて福祉教育をした経験があります。アンケートで小学2年生女児が「おじいちゃん何かなんことを言わはるな、と気になっていたのとお母さんがしんどそう、疲れていたの今日の話を聞いてよくわかりました。おじいちゃんにもお母さんにも優しくしたいです」と書いてくれました。2年生まで理解が深まるとあまり予想していませんでしたが「積極的に福祉教育を私たちがする必要はある」と強く思いました。私たちは社会福祉法人の集合体として、法人施設の円滑な運営のためは勿論、市民全体の福祉向上に寄与することを意識していきますのでご協力ご支援をどうかよろしくお願いします。



一般社団法人
京都市老人福祉施設協議会
会長
山 岸 孝 啓

INDEX

- 01 新年のご挨拶
- 02~03 介護の日 WEEK
- 04~05 かいごみらいラジオ
- 06 KYOTO かいごフォトコンテスト
『いい日いい日写真展』
- 07 ハートメッセージ紹介
- 08 高齢者施設のお料理紹介

KBS京都ラジオ 介護の日 WEEK

(11月2日(月)～11月7日(土))

11月11日の「介護の日」へ向けた取り組みとして、
11月2日(月)～7日(土)の一週間を「介護の日 WEEK」とし、
ラジオ・テレビを通じて介護・福祉の仕事の魅力を発信しました。

11月2日(月)

「ファミリーレストランのめっちゃうま！」

テーマは『介護の仕事について』



介護の業界に興味を持って
頂けると嬉しいです。

利用者さんが心を開いてくださり、
家族さんが喜んで頂くと、やりがいを感じます。



11月3日(火)・祝

「さらピン! キョウト」

テーマは『介護・福祉職への転職』



自分が高齢になったときに、
されたい介護ができるように
なりたいです。

人を思いやる気持ちと、
元気とやる気のある方、
お待ちしております。



日常生活に困難を抱えて
いる人の役に立ちたい
と思いました。



京都市としても福祉、
介護職の皆さまをバック
アップいたします。

11月4日(水)

「チキチキ・遠藤Nami乗りジョニー」

テーマは『11/8かいごみらいラジオPR』



11月11日は『介護の日』、
ぜひ覚えてください！



11月5日🌸

「女と男と木村のシャバダバ元気！」

テーマは『介護の仕事～食事に関わる仕事』



入居者さんから『美味しかった』
という言葉が頂けるとやりがいを感じます。

他の専門職と協同して、
チームで取り組んでいます。

11月6日🌸

「妹尾和夫のパラダイスKyoto」

テーマは『介護の仕事～施設長から』



介護は、頭と心を使う
クリエイティブな仕事
なんです。

11月6日🌸

KBS京都テレビ『きらきん！』

かいごみらいラジオ！告知

かいごみらいラジオで、私たちの
熱い思いを、皆様にお届けし
たいと思います！

11月7日🌸

「森脇健児のサタデーミーティング」

テーマは『介護の仕事～リハビリに関わる仕事』



特養でのリハビリは機能訓練だけ
ではなく、その人らしく生活する
ことの支援！

利用者様が機能訓練を通して外出し、
外食や買い物を楽しんでおられ
る姿を見るとうれしくなり、やり
がいを感じます



11月8日(日)

『チキチキ・遠藤Nami乗りジョニーEXTRA！ ～かいごみらいラジオ！』

今年度の『介護の日記念事業』メインイベント、KBS京都ラジオにて、
介護福祉のお仕事について生放送で熱い思いを語らせていただきました！



前回の『かいごみらいフェス』で作成した
オリジナルTシャツを着てみんなお揃い♪



ラジオの生放送と同時に。
KBS京都youtubeチャンネル
でもLIVE配信。



『かいごフォトコンテスト』
結果を生発表！

(詳細は6ページをご覧ください)

ゲストコーナー①

ゲスト

一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会
山岸会長

介護や社会福祉の仕事は、人に関心のある人、人に役に
立ちたいと思う方にとって、とても魅力的な仕事です。



トークセッションコーナー

～テーマは「介護を仕事にすること」。



実際に介護・福祉の職場で
働く方の作文を朗読。
石原さんも思わず涙…

介護の仕事は人にやさしい仕事であると同時に、今の世の中をよくするために如何に尊い仕事であるか、あらためて実感しました。



見返りを考えて働いてはいませんが、「ありがとう」の言葉は、この仕事を選んでよかったと思わせてくれます。

家でも施設でも自分らしい生活が実現できるように…日々喜怒哀楽を表現出来る生活を過ごして頂きたいと思います。



ゲストコーナー②

ゲスト

株式会社Blanket 代表取締役 秋本さん

介護は、人の人生に直接かかわって、人を幸せにできる、そんな仕事だなと感じます。



福祉の仕事の魅力は、感謝、感動、感激の3Kなんです。

ご出演、ご協力頂きました皆様、本当にありがとうございました！

(かいごみらいフェス企画運営委員会)

KYOTO かいごフォトコンテスト 『いい日いい日写真展』

令和2年度 京都市老協「介護の日」記念事業『KYOTO かいごフォトコンテスト』では、18の施設（内1施設は関係団体施設）から計73点の作品応募がありました。一次審査において20点の作品が選ばれ、二次審査において最優秀賞、審査員特別賞、優秀賞を選出されました。

高齢者および、福祉・介護に携わる方々の日常における喜びや楽しさ、やりがい、感謝等様々な気持ちがかもった作品の数々を、多数ご応募くださり、本当にありがとうございました。作品をご応募頂いた方々をはじめ、審査にご協力いただいた外部審査員や役員等、写真展に関わっていただいたすべての皆さまに深く感謝申し上げます。

現在作成中のデジタルフォトブックは、完成次第市老協ホームページに掲載させていただきます。また作品は市老協公式 SNS からご覧頂けますので、ぜひ SNS に遊びに来てください。

（かいごみらいフェス企画運営委員会）



最優秀賞

『花火』

（撮影者：林 秀明さん）



優秀賞

『みんな元気にしてるか？』

（撮影者：田中 説子さん）



審査員特別賞

『夜中に一服』

（撮影者：井末 風沙さん）



優秀賞

『桜の香り』

（撮影者：山田 芳生さん）

市老協公式SNS

市老協ホームページから、老協公式SNSを御覧いただけます。
イベントに関するお知らせなど御覧いただけます。
ぜひ遊びにきてください、お待ちしております。

ホームページは
こちらから



ハートメッセンジャー

京都指月の郷

メンバー紹介

シオンの里



介護の仕事を選んだ理由

高校生の時の介護施設でのアルバイト経験で、感謝される喜びとやりがいを感じたからです。

好きな言葉、座右の銘は？

負けないことが勝つことだ

趣味・特技を教えてください。

カフェ巡り、動画鑑賞

ハートメッセンジャーとして一言！

介護の仕事は利用者様の笑顔で元気を頂ける仕事です。私はレクを積極的にチャレンジしています。



介護の仕事を選んだ理由

人の役に立てて、ありがとうと喜んでもらえる仕事がしたいと思ったからです。

好きな言葉、座右の銘は？

倅せを求めるならば耐えよ 喜びを求めるならば辛抱せよ 生きてゆくなら努力せよ

趣味・特技を教えてください。

国内旅行・音楽鑑賞

ハートメッセンジャーとして一言！

介護についての魅力や楽しさを知ってもらい、多くの人に興味を持ってもらいたいです。



沓掛寮



介護の仕事を選んだ理由

転職の際に友人に介護向いていると言われた事がきっかけです。

好きな言葉、座右の銘は？

「有言実行」口に出したことは守る！

趣味・特技を教えてください。

料理・お菓子作り

ハートメッセンジャーとして一言！

訪問介護職員として、在宅生活を支える介護職のすばらしさを知ってもらいたいです。



ユーカリの里



介護の仕事を選んだ理由

祖母の介護に関わり、ケア方法等に興味をもったことがきっかけです。

好きな言葉、座右の銘は？

男は黙って気合と根性

趣味・特技を教えてください。

ポケットモンスター、スイーツ巡り

ハートメッセンジャーとして一言！

利用者様一人ひとりが、場面ごとに何を求めているのか、それを理解できるよう努めます。

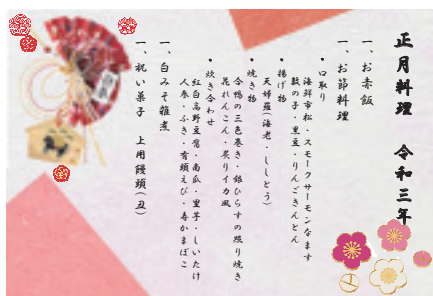


高齢者施設の お料理 紹介

常食

ムース食

正月料理



いくつになっても食事は生きる
喜びや楽しみとなっていることが
多いと考え、洛東園では食事の充
実に力を入れております。その取
り組みとして、その日の気分にあ
わせてセレクトできる「選択食」、
普段のご提供が難しい食材を使用
した「ご馳走日」、目の前で調理
し出来立てを味わって頂く「面前
料理」。五感を刺激され喫食率が
大幅にアップします。その中でも
握り寿司・季節の天ぷら等、大変
ご好評を頂いております。そして
季節感を味わって頂ける「イベン
ト食」では、季節御膳や松花堂弁
当等、華やかさを演出しておりま
す。その中で毎年1月にはおせち
料理をご提供致します。

江戸時代には一年の節目で一番大
切なお正月にふるまわれる料理を
「おせち料理」と呼ぶようになり、
収穫物の報告や感謝の意を込め、
その土地でとれたものをお供えし
ていたようです。暮らしや食文化
が豊かになるに従い山海の幸を盛
り込んだご馳走となり、現在のお
せちの原型ができた
そうです。

○黒豆：新年も家族
がみな、まめに働き
健康に暮らせるよ
うにと願う祝い肴
○りんごきんとん：
栗は昔から「勝ち
栗」と呼ばれ縁起も
の。きんとんは「金
団」と書き、黄金色

に輝く財宝にたとえて、豊かな
1年を願う料理です。

○有頭えび：「ひげが長く伸び、
腰が曲がっても元気な」不老長
寿を願って。

○数の子：子宝や子孫繁栄を祈り
食べられる、祝い肴三種のひと
つ。

○しいたけの炊き合わせ：長寿の
象徴、亀の甲羅をも模した椎茸
は旨味成分たっぷり。

○花れんこん：穴があいているこ
とから、将来の見通しがきくよ
うにと願います。

○スモークサーモンなます：紅白
でめでたく、祝いの水引にも通
じます。また、根菜のように深
く根をはるようにと願います。

現代のおせち料理はとても多彩
になりましたが、こうした知恵と
こころを上手に取り入れてメ
ニュー作成致しました。
今後も食べる喜びをサポートし、
安心・安全な食事を提供できるよ
う日々努めて参ります。

(洛東園 栄養課 緒方沙耶)

